

発 言 通 告 書

発言者氏名	長谷川昇
発言の会議	令和8年 6月 9日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長、教育長

【件名及び発言の要旨】

Ⅰ 教育改革及び教職員の働き方改革について

- (1) 子どもと向き合う時間を創出する教職員の働き方改革について
 - ア 令和8年度からの新たなよこすかスクールスマイルプランが掲げる「1か月の時間外在校等時間が45時間を超える教育職員を0%にする」という目標の達成に向けた各取組の進捗の確認並びに成果の把握及び検証について
 - イ 新たなよこすかスクールスマイルプランにおける「子どもと向き合う時間」及び「自己研さんの時間」の確保に関する目標指標としての位置づけ並びにこれらを継続的に把握・調査し、改革の効果検証に生かすことについて
- (2) 若手教職員の育成と定着における教育委員会のサポートについて
- (3) 教職員への支援を含めた学校運営を支える体制の充実及び本市の行政職員等の多様な人材を学校現場へ活用する新たなモデルについて
- (4) 教材費徴収上限額制度について

ア 学校現場と教育委員会が課題意識を共有し、ともに改善を図るための仕組みづくりについて

イ これからの公費負担の在り方について

2 未来の横須賀を見据えた地域福祉体制の再構築について

- (1) 超高齢社会が本格化し、介護・福祉・孤立などの複合課題が急増する中で、支え手不足が深刻化する将来への危機認識について
- (2) 人事政策の転換という観点も含め、将来に向けて福祉専門職の採用枠を広げ、重点的・計画的に採用数を増やすことについて
- (3) 人材育成及びDXによる人的再配置に関し、職員へのリスキリング（資格取得支援等）及び処遇への反映を戦略的に進める仕組みの構築について